

平成30年度 新産業創造事業化研究会
「第1回 新事業探索オープンセミナー」

「小さな百貨店」に学ぶソーシャルビジネス
京丹後市夢まち創り大学 コーディネータ 東田 一馬 氏

■講演内容

- ・ **ソーシャルビジネス**：「ソーシャル」は社会課題の解決を目的とし、「ビジネス」は事業収益で持続的に経営することであり、「ソーシャルビジネス」とは、お金を稼ぐが利益の最大化を第一目的としないビジネスである。
- ・ **常吉地区人口推移**：平成9年から平成29年に常吉地区の人口は、780人から470人と20年間で半分近くになった。しかし、14歳以下の子供は9%いるので、将来が期待できる。
- ・ **常吉村営百貨店からつねよし百貨店へ**：半径5Km以内にコンビニ、スーパー等競合施設ができ、車があれば地域のお店は不要である。しかし、徒歩での買い物は困難で困っているお年寄りを助けるため「つねよし百貨店」を開業した。
- ・ **つねよし百貨店十訓**：つねよし百貨店を経営していくために、「成長しない」「競争しない」「効率化しない」「奉仕しない」「レバレッジかけない」「ストックをつくらない」「すべてにオープンに、多様に」「役目がある限り」「Always Happy」の十訓を作った。
- ・ **時代の変化に生き残るためのキーワード**：セレンディピティ（偶然を活かす）、ラテラル・シンキング（水平思考）、レジリエンス（折れない心）の3つのキーワードを実行している。

■講演風景



講師：東田 一馬 氏



質疑・応答